

令和 6 年度

市政モニターアンケート調査結果
【 広報について 】



長 崎 市
広報広聴課

1 調査の目的

長崎市では、広報紙のほかウェブサイトやSNS、YouTube、民放テレビ、ケーブルテレビ、ラジオ、データ放送、雑誌や新聞への広告など複数の媒体を利用して広報を行っています。中でも、インターネットメディアは利用者側からすると、いつでもどこでも利用できる手軽な媒体であり、市側としても、即時性があり、費用も低廉であるなど双方にメリットがあり、費用対効果を重視するならば、広報媒体の主力となるものと言えます。

他方で「高齢者はインターネットをうまく活用できないことから、テレビやラジオが情報収集の中心である」という考え方もあります。

今回は、第一に、「高齢者はテレビやラジオが情報収集の中心である」といえるかどうか、第二に、「市の広報番組がどの程度利用されているのか」を調査し、今後、効果的に広報媒体を活用・選択するための参考としたいと考えています。

2 調査の概要

調査期間：令和7年2月7日 ～ 令和7年2月21日

送付数：269人

回答率：82.5%（222人）

（郵送回答 136人 インターネット回答 86人）

3 調査結果

- ・民放テレビについては、約7割の人が視聴し、約5割の人は「週刊あじさい」が放送されていれば視聴すると回答しました。50代以上の年代では約7割以上の人が民放テレビを視聴すると回答していますが、若い年代では視聴しないとの回答が多く、30代では民放テレビを視聴する人は4割にとどまりました。
- ・ケーブルテレビ、データ放送、ラジオについては、年代に関わらずあまり利用されていませんでした。低調な中でも高齢になるにつれて利用率が上がるという傾向も確認できませんでした。
- ・以上から、民放テレビについては高齢者への広報媒体として有用性が認められるものの、ケーブルテレビ、データ放送、ラジオについては高齢者が情報収集に利用しているとは言い難く、用いる広報媒体に検討が必要と分かりました。

4 調査結果の見方

調査結果の数字は、百分率で表記しているものがあり、百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入して、小数点第1位まで表記しています。そのため、内訳を合

計しても 100 パーセントに合致しない場合があります。

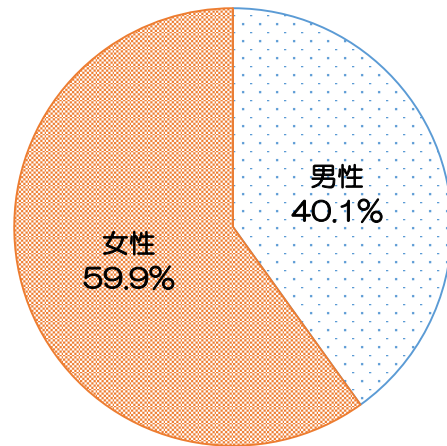
また、複数回答可とした設問においては、合計が 100 パーセントを上回る場合があります。

なお、回答者数の異なる問については、回答者の数を「N=〇〇人」で表現しています。

問1 あなたの性別をお答えください。

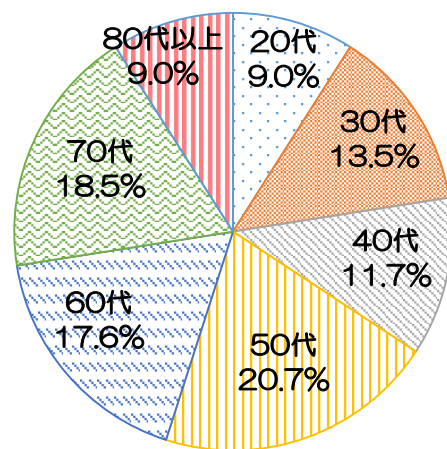
選択肢	回答者数	割合
男性	87 人	40.1%
女性	130 人	59.9%
合計	217 人	100.0%

(無回答 5 人)



問2 あなたの年齢を選択してください。

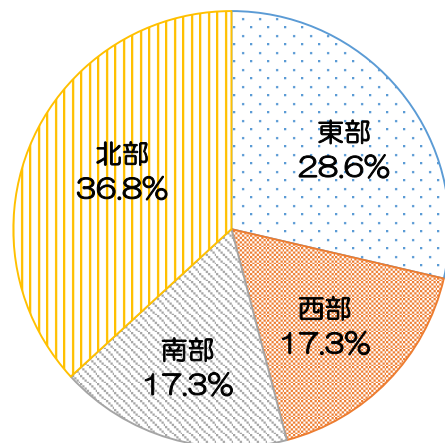
選択肢	回答者数	割合
20 代	20 人	9.0%
30 代	30 人	13.5%
40 代	26 人	11.7%
50 代	46 人	20.7%
60 代	39 人	17.6%
70 代	41 人	18.5%
80 代以上	20 人	9.0%
合計	222 人	100.0%



問3 お住まいの町名を教えてください。

選択肢	回答者数	割合
東部	63 人	28.6%
西部	38 人	17.3%
南部	38 人	17.3%
北部	81 人	33.8%
合計	220 人	100.0%

(無回答 2 人)



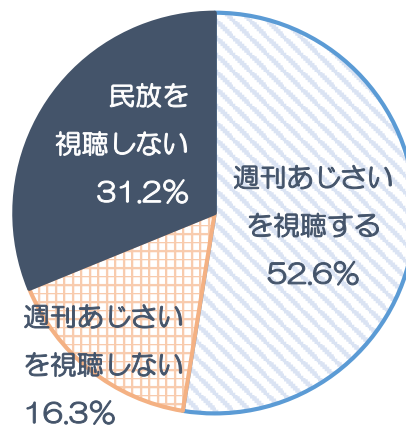
※ご記入いただいた町名をもとに、東西南北に分けて集計しています。

問 35 民放テレビで放送している「週刊あじさい」について、最も当てはまるものをお答えください。

※ 「週刊あじさい」は民放4局で放送している5分番組で、字幕によるお知らせ番組、職員出演による企画番組を交互に放送しています。

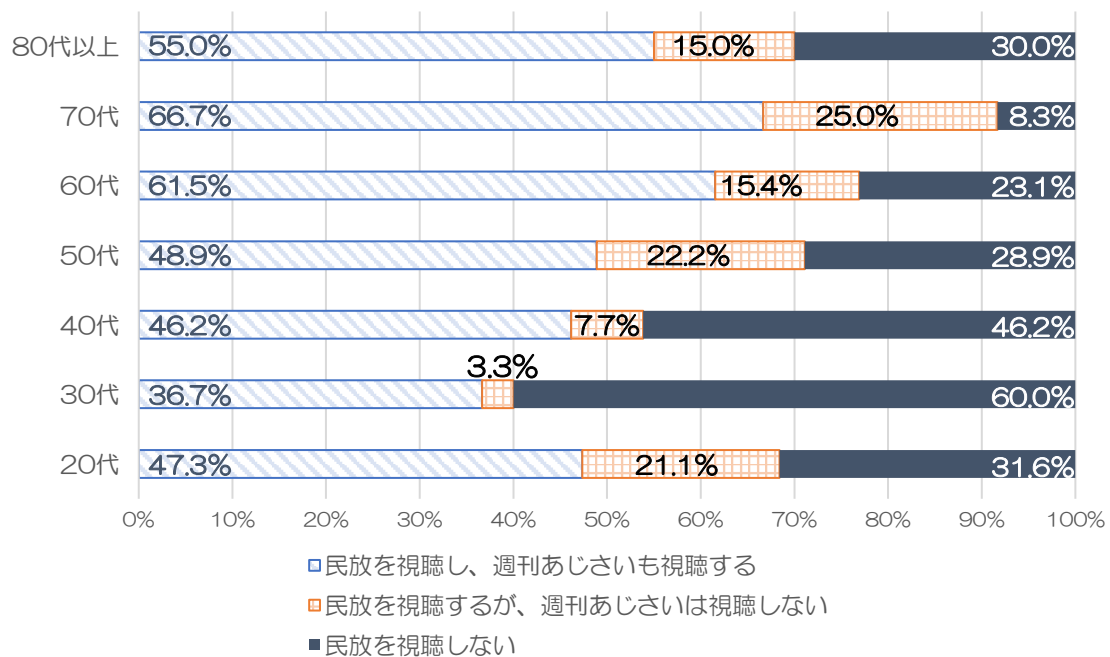
選択肢	回答数	割合
民放を視聴し、週刊あじさいも視聴する	113	52.6%
民放を視聴するが、週刊あじさいは視聴しない	35	16.3%
民放を視聴しない	67	31.2%

(回答者 215 人、無回答 7 人)



<年齢別割合>

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
民放を視聴し、週刊あじさいも視聴する	47.3%	36.7%	46.2%	48.9%	61.5%	66.7%	55.0%
民放を視聴するが、週刊あじさいは視聴しない	21.1%	3.3%	7.7%	22.2%	15.4%	25.0%	15.0%
民放を視聴しない	31.6%	60.0%	46.2%	28.9%	23.1%	8.3%	30.0%



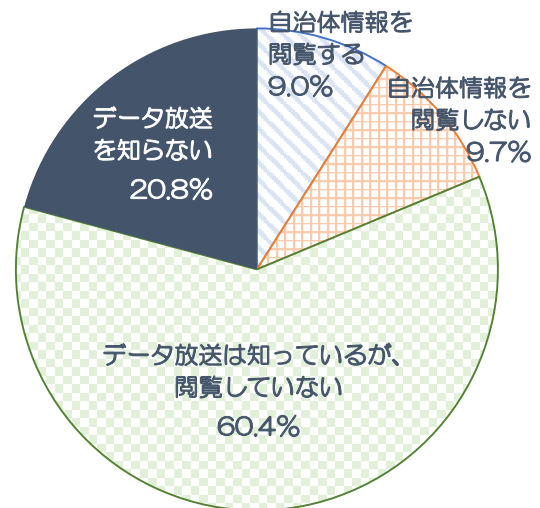
約半数の 52.6%の人が「民放を視聴し、週刊あじさいも視聴する」と回答しており、「週刊あじさい」の放送は市政の広報につながっていることが分かりました。

他方で、「民放を視聴しない」との回答が 31.2%に上りました。世代別で見ると 30 代の 60%、40 代の 46.2%がテレビの視聴習慣がないと回答しました。30・40 代は子育て世代でもあり、広報の対象となることが多いですが、30・40 代へ向けた広報媒体としては、テレビは効果が限定的である可能性があることが分かりました。

問 36 テレビで長崎放送（NBC）を視聴中にリモコンの「dボタン」を押すと表示されるデータ放送及びデータ放送で提供している長崎市の「自治体情報」について、最も当てはまるものをお答えください。

（問 35 で「民放を視聴し、週刊あじさいも視聴する」又は「民放を視聴するが、週刊あじさいは視聴しない」と回答した方のみ回答）

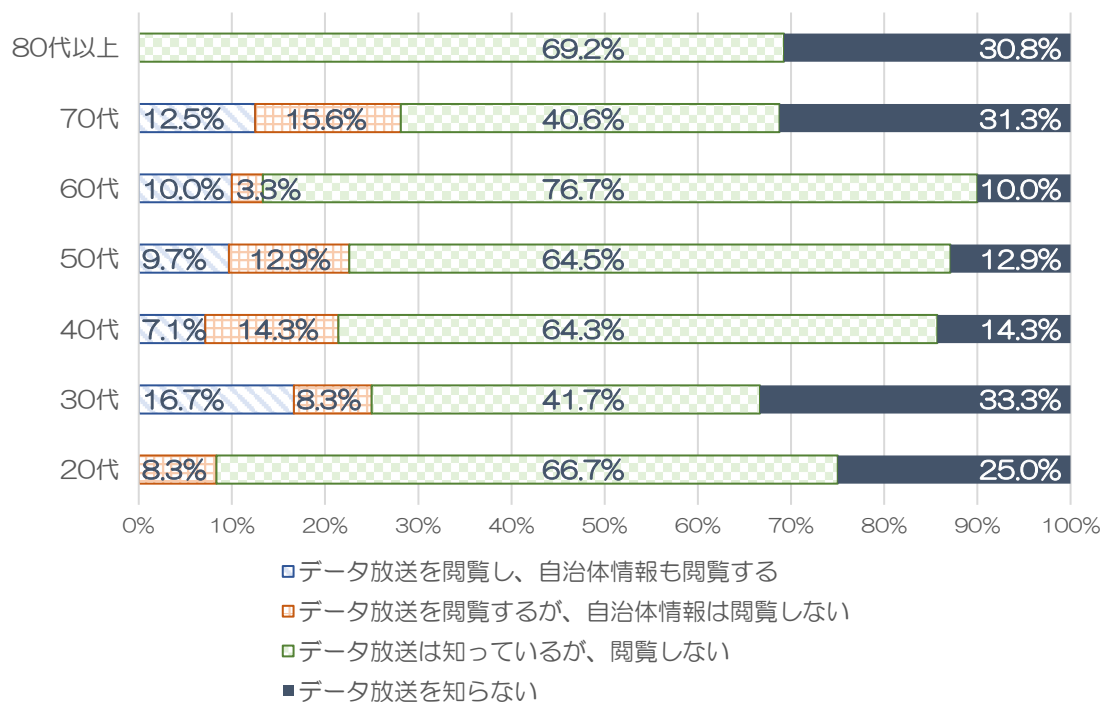
選択肢	回答数	割合
データ放送を閲覧し、「自治体情報」も閲覧している	13	9.0%
データ放送を閲覧するが、「自治体情報」は閲覧していない	14	9.7%
データ放送は知っているが、閲覧していない	87	60.4%
データ放送を知らない	30	20.8%



（回答対象者 148 人、無回答 4 人）

<年齢別割合>

	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代 以 上
データ放送を閲覧し、自治体情報も閲覧する	0%	16.7%	7.1%	9.7%	10.0%	12.5%	0%
データ放送を閲覧するが、自治体情報は閲覧しない	8.3%	8.3%	14.3%	12.9%	3.3%	15.6%	0%
データ放送は知っているが、閲覧しない	66.7%	41.7%	64.3%	64.5%	76.7%	40.6%	69.2%
データ放送を知らない	25.0%	33.3%	14.3%	12.9%	10.0%	31.3%	30.8%



データ放送を閲覧している人は 18.7%で、うち「自治体情報」も閲覧する人は 9.0%にとどまりました。また、データ放送を知らないと回答した人は 20.8%でした。

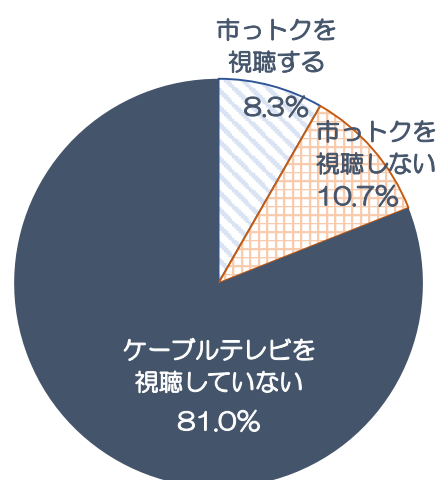
また、データ放送を知ってはいるが閲覧していないと回答した人が 60.4%と最多でした。閲覧している人と併せて約 80%の人がデータ放送というサービスを認知していること、サービスを認知した上でデータ放送を利用していない人が極めて多いことが分かりました。

年代別に見ると、どの世代でもデータ放送を知っているが、閲覧しないという人が最も多く、全年代向け、特定年代向けのいずれの広報媒体としても検討の余地があることが分かりました。

問 37 ケーブルテレビで放送している「市ットクながさき」について、最も当てはまるものをお答えください。

※ 「市ットクながさき」は長崎ケーブルメディアで放送している「なんでん cafe」のコーナーで、金曜日に放送（放送がない週もあります。）。職員とキャスターの会話形式で事業を紹介しています。

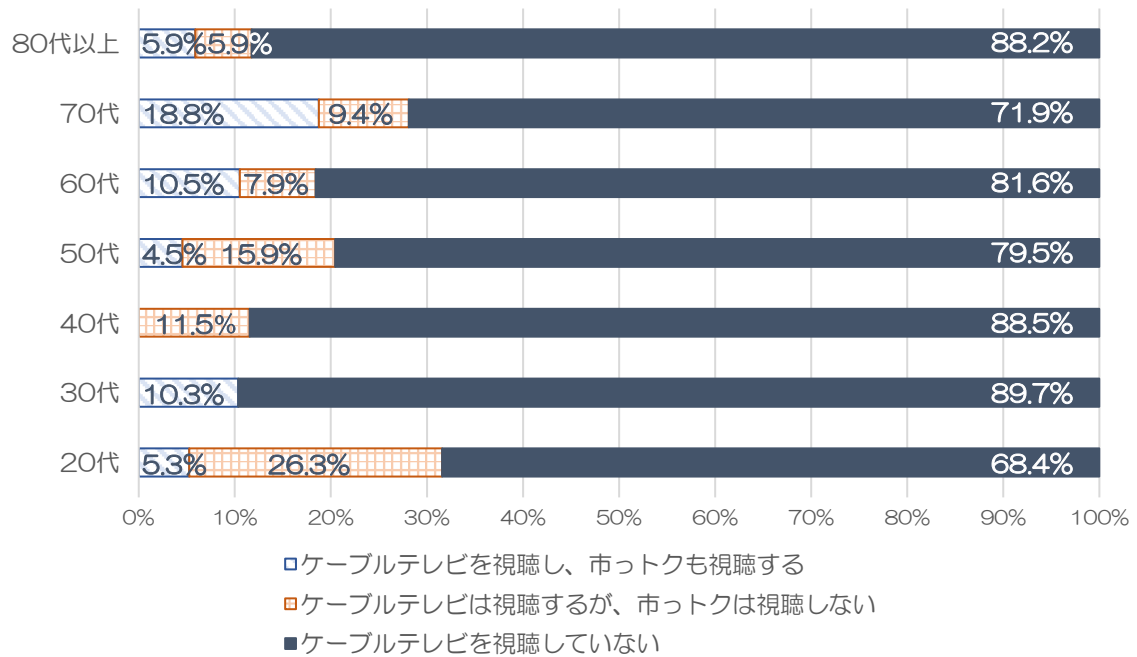
選択肢	回答数	割合
ケーブルテレビを視聴し、「市ットク」も視聴する	17	8.3%
ケーブルテレビは視聴するが、「市ットク」は視聴しない	22	10.7%
ケーブルテレビを視聴していない	166	81.0%



（回答者 205 人、無回答 17 人）

<年齢別割合>

	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代 以 上
ケーブルテレビを視聴し、市ットクも視聴する	5.3%	10.3%	0%	4.5%	10.5%	18.8%	5.9%
ケーブルテレビは視聴するが、市ットクは視聴しない	26.3%	0%	11.5%	15.9%	7.9%	9.4%	5.9%
ケーブルテレビを視聴していない	68.4%	89.7%	88.5%	79.5%	81.6%	71.9%	88.2%



「ケーブルテレビを視聴していない」と回答した人が 81%と最も多く、ケーブルテレビで「市トクながさき」を視聴している人は 8.3%にとどまりました。

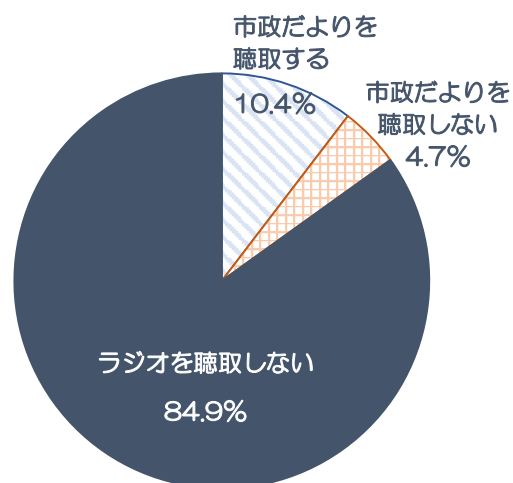
年代別に見ると、どの世代でもケーブルテレビを視聴しない人が最も多く、全年代向け、特定年代向けのいずれの広報媒体としても検討の余地があることが分かりました。

問 38 ラジオで放送している「長崎市政だより」について、最も当てはまるものをお答えください。

※ 「長崎市政だより」はNBCラジオ、FM長崎で放送している5分番組。毎週4, 5件のイベントやお知らせを放送しています。

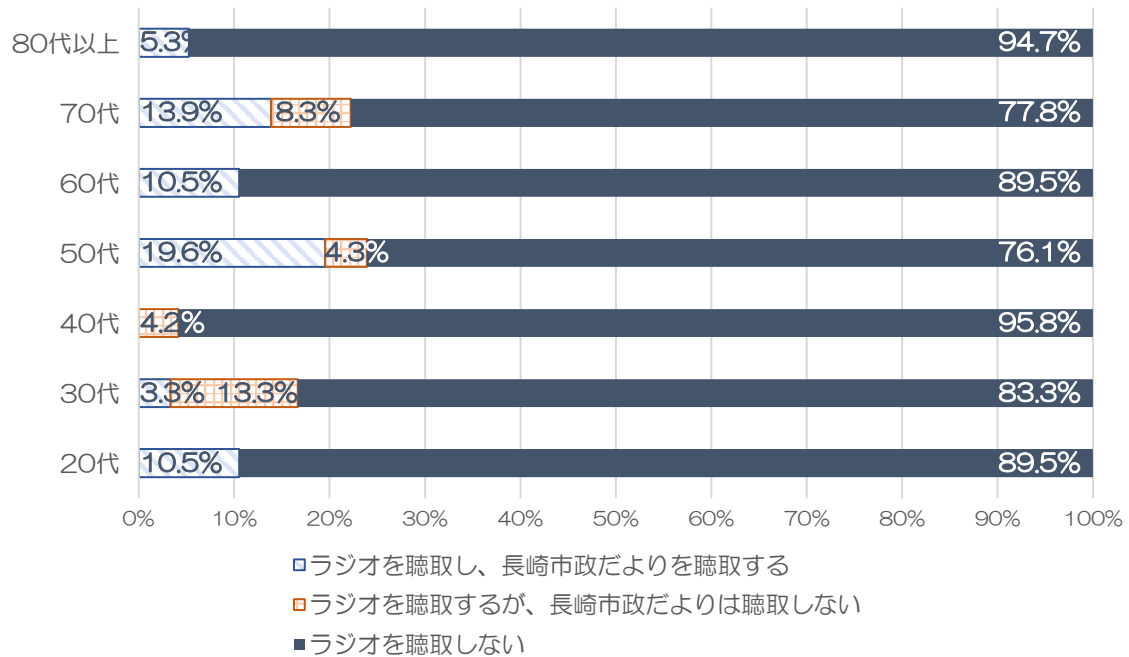
選択肢	回答数	割合
ラジオを聴取し、長崎市政だよりを聴取する	22	10.4%
ラジオを聴取するが、長崎市政だよりは聴取しない	10	4.7%
ラジオを聴取しない	180	84.9%

(回答者 212 人、無回答 10 人)



<年齢別割合>

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
ラジオを聴取し、長崎市政だよりを聴取する	10.5%	3.3%	0%	19.6%	10.5%	13.9%	5.3%
ラジオを聴取するが、長崎市政だよりは聴取しない	0%	13.3%	4.2%	4.3%	0%	8.3%	0%
ラジオを聴取しない	89.5%	83.3%	95.8%	76.1%	89.5%	77.8%	94.7%



「ラジオを聴取しない」と回答した人が非常に多く、84.9%に上りました。ラジオを聴取している人は 15.1%で、そのうち長崎市政だよりを聴取している人は 10.4%にとどまりました。

年代別に見ると、どの世代でもラジオを聴取しない人が最も多く、全年代向け、特定年代向けのいずれの広報媒体としても検討の余地があることが分かりました。